



港工同窓会 ニュース

第13号 平成26年4月20日発行 発行責任者 前田武男

都立六郷工科高校

創立10周年記念式典に参加して

港工同窓会会長

港3期(全)電力科卒 前田 武男

東京都立六郷工科高校は平成16年4月に開校し、昨年創立10周年を迎えた。

平成25年10月5日(土)開催の記念式典には私が列席し、祝賀会には松岡理事と共に参加した。

その折、六郷工科同窓会館田健太会長及びFAT(PTA) 船山康夫会長(昨年の同窓会懇親会にご招待)並びに六行会(FAT・OB) 菊地直人会長又、初代萩原和夫校長及び第二代前園実校長と親しくお話しすることができ、実に有意義で楽しいひとときであった。

六郷工科同窓会館田会長によると、まだ本格的な同窓会活動は出来ていないとのことであった。特に開設準備担当校長であった萩原先生とは、平成14年4月、東京都立太田地区単位制工業高校(仮称)の開設準備室が設置され、同窓会にも参加要請があり参加したが色々問題が有り、当時の苦勞話に花が咲いた。

例えば学校設置の近隣説明会では、定時制があることから、夜間の騒音・風紀が悪くなる等々の問題で参加された町会・商店会・住民の皆さんからは当初設置反対の意見が大勢

をしめ、その説得に苦慮した。しかし、廃校となる我々の気持ちが少ないは通じたと思っている。

又、廃校となる各学校のPTAや関係者等の意見がまとまらず、その調整に苦勞した。しかし、我々が強力な応援団と期待していた都議・区議の先生方は一人も来なかった。かかるに、今回の式典や祝賀会には来賓として先生方が多数参加されており、今更「何か」と思ったが、これもちの流れば浮き世の常かとあきらめた。

もう一つ、私が忘れられないことがある。それは、いつの頃だったかは思い

出せないが、たしか六郷工科高校が認可された頃だと思う。六郷工科高校との第1回目の打ち合わせで名前が忘れたが、ある先生が開口一番、「我が校は港工業とは一切関係ありませんから」と、港工業を否定するような発言に唾(あ)然とした。「そんなことわかってるわい」と思ったが、我々が今まで一生懸命苦勞してきたことは何んだったのだろうと悔(く)やしさと怒りがこみ上げ、思わず席を立った。その先生はどうかで偉くなっていることですが、非常に無念な思いが今でも残っている。

— 次頁へ続く —

◇平成26年度定期総会

記

日時 平成26年6月21日(土) 13時より(受付12時30分)

場所 総会 六郷工科高校1階食堂にて13時より(京浜急行「雑色」徒歩3分)

内容 平成25年度事業・決算報告、新役員承認

場所 懇親会 芝パークホテルにて16時より(都営地下鉄「御成門」徒歩5分)

会費 5,000円(総会のみの方は無料です)(J「浜松町」徒歩8分)

※懇親会参加者付き添いの方は無料です。

※懇親会参加の方は同封の郵便払込用紙の賛助金2,000円印字済金額を懇親会費共7,000円に訂正の上郵便局にて事前払込をお願いします。

(ATM機に払込用紙を挿入すれば土、日、夜間もok)

※準備の都合上、6月15日までに同封はがきで出欠の返信をお願いします。

—前頁より—

さて、皆さんは六郷工科高校の開校までの経過をあまり知らないと思いますので、ここに述べます。

○平成9年9月

都立高校改革第一次実施計画により、港工業高校(全日制・定時制)羽田高校(定時制)、鮫洲工業高校(定時制)、羽田工業高校(定時制)を発展的に統合した(仮称)太田地区単位制工業高校の平成16年度開校を計画。

○平成14年4月

東京都立太田地区単位制工業高校(仮称「開設準備室」)が設置され、萩原和夫氏が開設準備担当校長に。

○平成15年10月

東京都条例第126号「東京都立学校設置条例の一部を改正する条例」により東京都立六郷工科高校が認可される。

○平成16年3月

新校舎竣工(開設準備室設置当初に廃校になった学校の為に、新校舎内に専用の部屋を用意する(当時の都庁担当課長の話)とのことであったが、当初計画の広さがだんだん狭く、小さくなっていった)

○平成16年4月

東京都立六郷工科高等学校開校
「以上が六郷工科高校の
大まかな沿革である。」

それに対して

我が校はどうかであったか。

○昭和20年8月

終戦時の都立工業高校は約30校あった。その後、整理統合したりして都立工業高校の数は19校となった。

○昭和21年4月

都立高輪工業学校、都立麻布工業学校、都立渋谷工業学校を統合し、都立高輪工業学校(第一本科(昼間部)・第二本科(夜間部))として発足した。

(麻布、渋谷の二校は戦災を受け、校舎も設備も何一つ無く、三校から集まってきた生徒は1,200余名)

○昭和22年4月

6・3・3・4制の実施にともない、高輪新制中学校を併設。

○昭和23年4月

学制改革により東京都立港工業新制高等学校と改称。全日制(昼間部)・定時制(夜間部)ともに、機械科・電気科・及び電気通信科の3科が設置された。(私はこの年一年生として入学した)。

後に新制がとれ、東京都立港工業高等学校となる。

○昭和24年4月

従来設置の3科を廃し、全日制5科(機械科・自動車科・電気科・

電気機器科・電気通信科〔後に電子科〕、定時制には3科(機械科・電気科・電気通信科)を設置する。

○平成元年

港工同窓会が再建される。

○平成8年11月

サンケイ会館に於いて

○平成15年3月

50周年記念式典挙行。

○平成14年度をもって定時制

閉課程。

○平成16年3月

平成15年度をもって閉校。

(詳細は港工高閉校記念誌を参照)

以上が我が校の主な沿革であるが、六郷工科高校とは開校に至る出発点が多々異なる。我が校は、麻布工業及び渋谷工業が高輪工業に吸収統合され、高輪工業となった。その後学制改革により都立港工業高等学校と改称されたからである。

それに対し、六郷工科高校の場合、港工高を含む廃校となる、それぞれの学校は在校生が卒業するまで存続し、在校生が居なくなった時点で廃校した。その後六郷工科高校が開校したが、今になって思考すると東京都は古い形態の工業高校を廃止し新しい形の新制工業高校を造りたかったのではなからうかと推察している。(発展的統合とは、そういうことなのか)。

そのような状況から六郷工科高校同窓会との合体は有り得ないものと考えている。

又、皆さんからの返信はがき(近況・想い出)は総て読ませてもらった。中には厳しい意見もあったが、大勢の皆さんの港工高に対する熱い想いが心にしみた。

私は皆さんに答えるべく、命ある限り同窓会は存続したいと思っている。しかしながら同窓会にあまりにも無関心な方々、また賛助金未納の方等々が多すぎる。これらの皆さんは同窓生ではあるが同窓会会員とは認め難い。

同窓会の財源は皆様方の賛助金のみ。同窓会ニュースの発送には郵送料・はがき代・ニュース等の印刷代外一人当たり約200円が必要である。今まで住所判明者全員(約6千名)に発送してきたが約百二十万円余と莫大な支出。その財源は基本財産を取り崩し補填してきた。

このような状態では、いずれ基本財産は底をつく。そこで、この際同窓会に無関心な方々に対し、同窓会ニュースの発送を中止するもやむをえないものと思考する

同窓会の存続は皆様の協力なくしてはあり得ない。今後とも御指導、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。



校舎裏 (グラウンドより)



校舎と講堂 (後ろ)



六郷高・校舎全体
(正面より)

六郷工科高校創立10周年記念誌より

東京都立六郷工科高等学校 総務部主任

デジタルシステム科教師

港工同窓会理事 杉野 栄一

現在、私が在籍している総務部は、開校から3年間は広報部という分掌名で活動していました。分掌業務は中学校訪問・学校説明会・体験入学などの生徒募集のみを担当していました。私も開校2年目と3年目は主任として広報部に籍を置いていましたが、開校4年目から現在の総務部となり、分掌業務は生徒募集の他に全体集会の進行、入学式・卒業式の企画立案、学校運営連絡協議会の事務局、そして、周年行事の事務局が加わり人数の割に仕事の内容は膨大な部署となりました。学校PR委員会という生徒会の委員会があり、生徒も生徒募集のひとつの原動力になっています。24年度の文化祭(六郷祭)では、生徒の目線で見た学校案内を作り個別相談ブースにこられた中学生に配布し好評を得ました。24年度の募集活動をまとめると、中学校訪問から始まり、夏季休業中に5日間個別相談週間を開催し中学生が約140名来校しました。

10月からは合同説明会が始まり、会場は田園調布高校、墨田川高校

晴海総合高校、新宿高校、台東区立中学校PTA主催の5つの合同説明会に参加してきました。また、本校での説明会は10月から1月まで5回開催し、説明会の開催日時のPRとしては、本校校門脇に横断幕を張ったり、ホームページの活用、区役所にある交換便、各中学校へはFAXを送りました。送った地域は19区323校におよびチラシもその都度変えるなど工夫しました。その結果、今年度本校に来校した中学生は89校357名から121校419名に増えました。

来年度の目標は、応募倍率を上げるためには本校を中学生とその保護者の方によく知っていただく必要があると考えています。そのためには、ポスターや学校案内に更なる工夫を重ねたり、中学校訪問や出前授業出張授業の充実などを行わなければならないと思います。10周年を期に更に工夫した募集活動等に挑戦します。

◇平成26年度定期総会

恩師出席予定

- 関 透 (第12代校長)
- 木村 武敏 (教頭) 全
- 石田 昭宣 (事務長) 全
- 明石 朗 (自動車) 全
- 山田 信幸 (電気) 全
- 加藤 琢二 (電気) 全
- 小笠原将幸 (体育) 全
- 広橋 恭二郎 (電気) 定
- 西原 要四郎 (教務) 定
- 吉野 尚也 (体育) 全
- 両角 亮一 (数学) 全
- 藤崎 ミヤ子 (社会) 定
- 川口 博之 (事務主査) 全
- 甲斐 徳隆 (英語) 全
- 杉野 栄一 (自動車) 全
- 本杉 不二夫 (電子) 全
- 小川 栄治 (電子) 定

平成26年4月20日現在 (敬称略)

恩師 計 報

- 田島 貞雄 (英語) 全
- 金野 千賀子 (養護) 定
- 〓冥福をお祈り申し上げます。(敬称略)

返信はがきからの近況・想い出（特別会員・26年度）

旧（第10代校長）村上 五雄

毎回ご案内をいただき、有難うございます。その中に、一度はと念じつつも次第にいろいろな老人病に見舞われてしまい、外出を断念せざるを得なくなりました。ご盛会ならんことを、心から念じて失礼いたします。

旧（第15代校長）小山 実

閉校後、一度、港工を見に行きました。その時、プールの壁の絵はまだはつきり残っていました。遂に解体取り壊しとなりますことは残念ですが、新たに活用されることを期待しております。

旧（第12代校長）関 透

昭和39年3月電子科卒業のクラス担任で最近は何回かのクラス会を楽しんでおります。また、平成3年より4年間は校長として勤務し、十校会や施設、設備面では、当時の後援会会長の前田氏に大変ご支援をいただいた記憶がございます。

旧（教頭）全 本波 哲郎

ご案内をいただき、有難うございます。おかげさまで、相変わらずの日々を過ごしています。体力が少しづつ衰えるのを実感している昨今です。港工同窓会のみますの御発展と御参会の皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

旧（第14代校長）和泉 勲

同窓会が継続されていることをうれしく思います。私も小石川工業の同窓会にかかわっていました。2年前に石碑を母校、玄関前に寄贈して、完全に同窓会を閉じました。今はクラス会や同期会で母校を思い出しています。港工業での思い出はたくさんありますが、今でも毎年3月に先生方と会合を持っています。20名以上集まり盛会です。先生方の中にも港工が強く残っているようです。

旧（教頭）定 三谷 和夫

愛宕祭(文化祭)とくに職員による劇の思い出がなつかしいです。9年間いただいた給食は有難かったと思います。大いに助かりました。校舎の解体は残念です。愛宕山へ何度か上ったことが思い出されます。

旧（教頭）全 木村 武敏

校舎が解体され、本当に残念な思いです。移転先を探していた20年前がなつかしいです。

旧（教頭）定 石井 良治

夜、屋上からの東京タワーは実に見事な景観でした。

旧（教頭）定 市川 勝緒

いつもご連絡恐縮致しております。

旧（教頭）全 野上 明夫

事務局の皆様、大変ご苦労様です。前田会長を中心に活躍されている様子を毎年のご案内にて知り、とても感激しております。現役も済みましたので、機会があればと考えておりました。今回は残念ですが・・・。相変わらず、お酒を頂き忙しくしております。皆様同様、元気なのが何よりです。

旧（教頭）全 相川 英昭

他の都立工高にはない1年から実習を4班編成したり家庭科の2班編成、屋上での野球練習など狭い校庭や教室等をみんなで工夫して使っていました。あのなつかしい校舎が解体されるのは！とても残念です。

旧（自動車）全 明石 朗

諸係のご苦労を思います時大変感謝いたしております。来る平成26年度の同窓会の盛大なることを祈念申し上げます。他事ではありますが生も元氣ですのでは是非出席いたしたいと存じます。

旧（事務長）全 石田 昭宣

時の流れとはいえ、母校が取りこわされる事は誠に残念です。当日はお世話になります。よろしくおねがいいたします。

旧（電気）全 高橋 光春

十数年来、循環器科、消化器外科、神経内科の各科に月三回通院しています。

旧（電気）全 山田 信幸

ご連絡有難うございます。昨年の総会後の懇親会の前田会長のご子息の名人芸を堪能しました。楽しい一日でした。多病息災なれど出席させて頂きます。

旧（電気）全 小又 良一

港工は私にとつて大切な思い出の地条件です。何よりもこの学校の立地条件です。新橋、虎の門、御成門、神谷町他、どこからでも通える素晴らしい場所です。校歌が「愛宕の緑」から始まるなんて、観光バスのガイドさんも顔負けです。私は今だにあの近く芝公園が好きで、時々港図書館に行きますが、母校の姿を遠目に見るのが楽しみでした。でも先日港工の姿が消え更地になっており、完全に港工は心の中のみ止まるものとなりました。

旧(国語) 定 川合 道雄

今年98歳になり記憶のないものとなりましたが、昔のことはよく思い出して話してくれます。うれしいことでした。

旧(電気) 全 加藤 琢二

体調よろしからず。行くだけは行きま

旧(電子) 全 貝瀬 栄輔

申し訳ありません。欠席させて頂き

旧(事務) 全 森田 智恵子

先約があり残念ながら欠席といたします。

旧(理科) 定 渡辺 昌介

その後、体調を崩したままで都心に

旧(機械) 定 三津田 宏

一人で外出が出来ませんので失礼し

旧(体育) 全 吉野 尚也

懐かしいあの校舎が取り壊しとは、悲しいことです。20歳台に5年勤めた港工高を去って45年、同窓会に初めて参加することになりました。担任した自動車科の卒業生を何人か誘って参加します。

旧(体育) 全 小笠原 将幸

出席させていただきたいと思っておりますが、100歳を迎えております実母の看病、介護の連日で、参加の可否が定まりません。私は76歳になりました。港工高に赴任したのが22歳でした。27歳の時、東京五輪、体操競技役を務め、翌年、転勤となりました。在職中には臨海学校、体育祭での民謡踊り、文化祭での女子高校招待フオークダンス等々、多くの思い出があり、書ききれません。

旧(電気) 全定 深澤 春三

体の不調で出席出来ず、申訳ありません。只々総会の盛会を願っております。

旧(給食) 定 佐藤 清子

上大岡は3月〜4月にかけて鎌倉街道にそって流れる大岡川の土手には桜並木が立ちならび花ビラ的美しさが眼をたのませてくれます。

旧(自動車) 全 豊山 州生

折角のおさそい申し訳ありません。家内の具合が悪いため、留守にすることができません。皆様によりしくお伝え下さい。

旧(電子) 全 菅原 彪

ご盛会を心からお祈り申しあげます。

旧(電子) 定 伊藤 雅章

教え子から「住所移転のお知らせ」のはがきが届くことがあります。その都度港工での生活が思い出されます。

旧(数学) 全 両角 亮一

長年多くの生徒を迎え送り出し、一人ひとりに思い出を与えて来た校舎がとうとう取り壊されると聞き寂しい気持ちでいっぱいです。しかし、その時々のお出来事はいつまでも残っています。

旧(英語) 定 福井 祥

定年までの36年間の半分を港工定で過ごしました。4度の担任等、思い出は尽きません。時に新橋、蒲田近辺で卒業生と一杯やっています。

旧(社会) 定 藤崎 ミヤ子

遂に校舎が取り壊し残念です。戦前に建てられた実に頑丈な建物でした。旧体育館が建て替えられた時(昭和44年でした)でしょうか。大きな鉄球で壁をガンガン打ちつけてもなかなか壊れず、感嘆したことをよく覚えております。47年前定時制はパンとミルクのみの給食で、重いミルクの食罐を下げて階段を登るツメエリの生徒の顔が思い出されます。

旧(体育) 全 石井 俊策

皆さんによりしく。

旧(電気) 全定 砂川 海廣

毎日体調と相談して散歩しています。笛を吹いたり、好きなカメラをいじったりして楽しんでます。港工では良い仲間と仕事が出来、永く勤めあげることが出来ました。

旧(機械) 定 福富 千明

とうとう校舎解体。あの狭き門が懐かしいです。港工・愛宕祭のアーチ、そして在職16年のゲートでした。今年には再任5年目、終了の年です。

旧(英語) 全 甲斐 徳隆

髪は黒々、血の気の多い4年間でした。昭和50年代はまだ都立高校の良き伝統が残っていて個性豊かな先生がたくさんいらつしやいました。そのような職場で教師人生のスタートが切れたことを有り難く思っております。後4年間、大学生相手に英語を教えるつもりです。

旧(自動車) 全 猪口 明

会のご盛会を祈念します。

旧(体育) 全 小川 幸吉

いよいよ素浪人となりました。育てて頂いた諸先生に感謝申しあげます。

旧(英語) 全 佐藤 芳教

現在日比谷高校に勤務しております。

旧(国語)全 花田 恵子

初めて仕事に就いた校舎がもうないと思うと寂しい気がします。近ごろ建てられた学校とは一味違う重厚で頑丈な校舎でした。機械科や自動車科の実習場の学校らしからぬ雰囲気ももの珍しく感じたものでした。

旧(国語)全 吉川 英雄

新規採用教員として、港工高に奉職してから35年目の新年度を迎えました。荒川区の竹台高校2年目です。本年こそ参加したいと願っておりましたが防災宿泊訓練学校に教員・生徒が宿泊し、防災体験学習を行う行事と重なり欠席させて頂きます。残念です。竹台高校3年の保護者に港工高36期機械科卒のY君がおり再会に縁を感じております。

旧(保健)全 関口 敦子

今年も出席できず申し訳ございません。

旧(数学)全 田神 仁

都立広尾高校校長として4年目、前任校の杉並工業高校も加えると、校長9年目となりました。港工業の10年間で学ばせていただいた、ものづくりの大切さを全校集会等で、普通高校の生徒に話しています。おかげさまで、未だに工業校長会とは懇意にさせていただいております。

旧(電気)全 諸富 宏行

同窓会の発展をお祈り申し上げます。

旧(国語)定 持田 ひろ子

先日、港工業の近くを通る機会があり、校舎の解体が始まったことを知りました。上履が無く、靴のまま入ったこと、中庭と間違えたグラウンド、迷路のようで最後までよくわからなかった校舎内など、いろいろ思い出しました。付近はマツカーサード路など戦後の亡霊も出てきて随分変わりましたね。歳々年々人同じからず。感無量です。

旧(国語)全 矢部 玲子

現在、北海道文教大学で国語教師を育てる仕事をしております。

旧(英語)全 上田 みつ子

校庭の壁に毎年、生徒が上手な絵を描き、消すのが惜しいと思つたものです。しかし、次の年、新しく描かれた絵もまた上手で感心したものです。壁は壊されてしまうと思いますが、1階の生徒部の部屋から見ていた校庭の風景と絵がとても懐かしいです。(加藤先生には本当にお世話になりました。)

旧(国語)全 林 輝彦

ご盛會を祈ります。役員皆様のご苦勞に感謝いたします。

旧(国語)全 橋 とよみ

現任校はスカイツリーの近くにあり、教室からもよく見えます。でもやはり見慣れた東京タワーの方が好きです。港工の帰りに当時オレンジかった(冬の色でした)東京タワーのあたたかく美しい姿は、港工のイメージです。タワーを見ると港工を思い出します。

旧(社会)全 藤井 恵子

会報、いつも懐かしくうれしく拝見しています。現在は田無工業高校に勤務しております。港工業で皆様に御教え頂いたことが本当に活きて、充実した教員生活を送らせて頂いております。港工業には良い思い出、懐かしさ、感謝などいろいろの思いがあるとあらためて感じております。

旧(電子)全 山元 誠

杉並工業高校で副校長をしております。初任校の港工業高校は思い出がいっぱいです。母校校舎の解体はとても残念です。

旧(電子)全 本杉 不二夫

「我が思い港と共に去りゆかん」やっと長いトンネルから身体が抜けたい感じがします。外に出て皆さんとお会いしてエネルギーをもらいたいと思います。

旧(事務) 国分 賢司

本年3月末で学校事務の嘱託員を退職し、42年余りの学校事務職員生活を終了しました。

旧(家庭)全 檜垣 栄恵

時々、旧校舎のところを通り、思い出しております。取り壊しの貼り紙を目にし、淋しく感じておりました。

旧(数学)定 清水 隆夫

今回も申し訳ありませんが出席出来ません。

旧(事務) 直井 功子

港工業高校の近くに勤務先がありません。狭いと思つていた校舎敷地も更地になつてしまふと寂しい位に広々感じます。

旧(国語)全 川田 裕美子

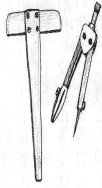
閉校まで4年間勤めました。更地にするんだからキレイさっぱり処分して、と言われ顔も知らぬかつての前任者たちの湯飲みなど何もかも処分したのに、校舎が残つたときは本当に安堵しました。その校舎がいよいよ解体になるんですね。3月暖房器具も何もかも取り外され、がらんとした教室でダンボールの切れ端を床に敷いて、同僚たちとお酒を飲みました。なつかしい思い出です。

旧(自動車)全 大塚 健一
平成26年4月1日付けで、東京都立大島高等学校に異動しました。

旧(養護)定 金野 千賀子
—— 昨年7月92才で亡くなりました。(2年4ヶ月寝たきりで自宅でひとり暮らし)。12年間先生方や生徒さん達と楽しく過ごせ、本当にありがとうございました。

後援会特別 樋口 重子
87才になり「ボケ」も始まってきたようです。週に3日(月・火・水曜)、市のデイサービスに参加しております。私のまわりの方達は皆様優しく、良い方達ばかりで感謝の毎日、私は本当に倖者です。

—— 敬称及び挨拶文の一部を紙面の都合上省略しました。



返信ハガキからの近況・想い出

(正会員・25年度)

秋臨時号発行以降の到着分

港(全)8期E 野中 武彦

クラス会が毎年開催されており、その中で、そちらに出席しています。

港(全)9期P 福富 康高

糖尿病15年最近合併症を患い治療に励んでいます。

港(全)15期C 長谷部 隆

(旧姓「矢澤」旧勤務先、東京電力目下趣味のハムで海外との交信を楽しんでおります。 J A O D C Q

港(全)15期C 松永 將則

同窓会があるのは知りませんでした。5期電子科はクラス会を続けていました。現在は北海道で余生を楽しんでいますので総会は欠席です。

港(全)15期C 新野 勝司

「同窓会ニュース」ありがとうございました。今後は極力、総会等には出席したいと思えます。同級生の米山隆夫君が7月に永眠しました。

◆ ◆ ◆
会報第12号掲載「郵便友の会」について、先輩からご指摘がありましたので、詳細を御報告いたします。

港(全)6期C 土子 賢治

中西氏の「郵便友の会」の文中に昭和33、34年以前には「会」がなかった筈とありますが、私が入学した昭和26年には既にあったようでして、1年だか2年生だったかに入会しました。図書委員をしていましたので図書の顧問でもあった棚橋先生だか宮本先生に紹介されて入会したと思います。会の活動は会員名簿の交換をもとに国内文通、さらに国際ペンパルとの文通(私はハワイの高校生と)による英文手紙の勉強等もしました。さらに学校行事の参加として「文化祭」への参加、年末年始の芝郵便局への応援・手伝い(アルバイトとは違う)等の活動を致しました。会員数は10人ぐらいいいたかと思いますが定かではありません。

☆卒業後50年目のクラス会

港(全)16期A 松岡 信之

昭和39年3月卒の16期生は今年で卒業50年となり記念の自動車科クラス会が4月19日、新橋第一ホテルで開催された。今回は担任の中井先生がご夫妻で出席され、想い出を語り合い、懐かしい写真のスライドストリー上映に感激し、皆の近況報告に拍手をして楽しい一時を過ごし、最後は校歌を合唱し再会を誓って散会しました。

思えば平成元年春に16期の25周年記念同期会が日比谷公園内の松本楼で開催され、当時私は名古屋から上京して参加しました。先生方多数をはじめ確か1500人位の大集会だったと思いますが、この16期同期会がきっかけとなって同窓会の再建がスタートし、翌年3月の再建臨時総会開催、その後の同窓会活動へとつながったと聞いております。

平成10年から会計理事を担当し皆様の返信ハガキ全てに目を通してありますが、級友と連絡がとれずクラス会を開けない同窓生が大勢います。クラス会に参加できる嬉しさをかみしめながら、同窓会の必要性を感じております。春の定期総会懇親会・秋の六郷祭にお気軽にお立ち寄り下さい。お待ちしております。

◆ ◆ ◆
記事を書いたときは「郵便友の会設立」を自分が発案した覚えがはつきりしていなかったのですが、これで良く分かりました。私も本が好きだったので、棚橋先生から、私に(中断していた)「友の会」の再開を望まれたのでしよう。

編集理事 12期E2 中西悦夫

早いもので、同校開校10周年を迎えました。先生方、生徒さん達が活きいきと活動している様子を、見るにつけ頼もしく思っています。

先ずは、自動車科に足を向けました。精巧なトランスミッションとオートマチック、心臓部のエンジン、足周り、デザイン、塗装面、どれを比べても、欧米に引けを取らない性能である。

さて昭和27年頃にタイムスリップしてみます。

国産乗用車のトヨタはトヨペット、日産はダットサンでした。トラックではオート三輪車が主流で、ダイハツ、くろがね、マツダ等が町々の運送屋の車庫にリヤカー等と並んで偉そうにしていた。



六郷工科高 正面

東京都立六郷工科高等学校
第10回六郷祭見字記

港(定)9期C 山元 稔

目をお堀端(日比谷通り)に移して見ると、そこは外車の展示場の様、CHQ(連合国軍総司令部)前から大手町付近まで斜め駐車、キャデラック、シボレー、ビュイック等オンパレードである。

こんな大國を相手に何故戦争を?指導した我が国軍閥の愚かさを、まざまざと知る事ができた。日清、日露の戦勝に驕り昂ぶりである。よし俺は将来、彼らに負けないよう努力しようと決心した。

さて毎年興味をもって見て居るものの中に、川柳があります。1、2年生の作品は、明るさが見えますね。3年生は、卒業後の進路に不安と迷いの入り混じった、作品が見受けられました。



加藤先生・前田会長



六郷祭 参加理事 (一部)

自分もその頃は、同じ思いでいたのだなど、過ぎ去ったあのころを懐かしんでいました。

もう一つの楽しみ、ピタゴラスですね。本番で不具合が数か所で見つかった。長い時間をかけて、皆で協力した貴重な作品です。悔しさも挫折感もあつたでしょう。でもそれで良いのです。失敗してこそ改良改善して後、成功があるのだから。

生徒同士のチームワークと創意工夫が成功の道だ。いつとき立ち止まって不を洗い出すもよし、振り出しに戻って思考するもよしである。

常日頃、何故?が大事!!、書をよく読み、人の話を真剣に聴く!そこに、より高度な技術を習得でき、企業のリーダーとして、また広く社会に貢献できるのである。

◇ ◇ ◇ ◇
26年度の六郷祭は

11月1日(土)午後1時~4時

2日(日)午前9時~3時30分

に開催されます。

同窓会の部屋も用意し、卒業アルバムや名簿資料、20周年記念誌・50周年記念誌・閉校記念誌の展示、ビデオ映写、また住所変更・賛助金納入等の受付を行います。休憩・歓談にお立ち寄り下さい。

昨年はキャンソンの方々が待ち合わせ場所にされて7名の方が集まり、内4名は住所不明者で名簿修正が出来ました。皆さんそれぞれに校内を見学、休憩・歓談の後、そろって食事に行かれました。

その他、住所変更の方が7名修正登録、賛助金現金納入の方が2名来場されました。

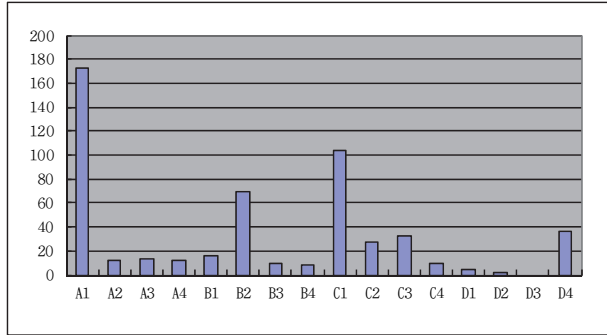
来場者の中には港工同窓生でご子息が六郷工科高という方がよく見えます。

当日はパソコンを立ち上げて待機していますので、会員名簿の検索問合せや登録修正、クラス名簿のプリントアウトを即行えます。ご利用下さい。

同窓会存続についてのアンケート結果を御報告致します。

2013年10月調査結果

A1	同窓会必要	賛助金支払う	173
A2	"	賛助金払わない	12
A3	"	わからない	14
A4	"	(空欄)	12
B1	同窓会不要	賛助金支払う	16
B2	"	賛助金払わない	69
B3	"	わからない	9
B4	"	(空欄)	8
C1	どちらでも	賛助金支払う	104
C2	"	賛助金払わない	28
C3	"	わからない	33
C4	"	(空欄)	9
D1	(不明)	賛助金支払う	5
D2	"	賛助金払わない	2
D3	"	わからない	0
D4	"	(空欄)	36
計			530



アンケートの回答のうち
賛助金お支払いの志(こころざし)の有る方が56%もあり、
たいへん心強く思っております。ありがとうございます。

校舎が取り壊されました

平成25年8月解体始～26年4月解体終了



↑ 解体前 ↓ ↓



↑ シートに覆われました



↓ 解体後、更地になりました ↑ ↓



← ↓ 解体作業中 →



校舎が解体され更地になってしまいました。廃校時より解体は決まっていたようなので、致し方ありませんが、我々同窓生の“よりどころ”が無くなってしまった感じで、とても寂しく思っております。

跡地は慈恵医大が使用します。小児医療・周産期医療・災害医療・救急医療等が予定されております。建物は15階建てと5階建てが並びます。土地は売却ではなく、50年の貸与。病院の開設時期は未定。以上が概略です。(東京都福祉保険局の資料から)

20周年記念誌から

〔昭和41年11月20日発行〕

優勝の思い出

加藤 裕亮

全国高校軟式野球大会東京都予選で優勝したときの思い出を書いてほしいとの依頼を受けてから、まとめるため友人と話し合ってもなかなか要領を得ない。そこで薄れている記憶を呼び起こすため、とりあえず一四年前の学校新聞から再録してみます。なおそのときの監督は現在も活躍中の福島隆先生、顧問は現在籠球部を指導されている藤田泰彦先生、選手は、五M神田礼三・外野、五M島崎武三・捕手、五A古山邦雄・内野、五P福島豊一・投手、五E中里武・内野、五E宮野茂・内野、六M藤谷勇・内野、六A阿波敏夫・外野、六A江沢旭・外野、六A金子耀也・内野、六C田川勇左・外野、七A池内(神谷)友行・内野、七C山下将進・外野、五E加藤祐亮・捕手、主将、という陣容でした。ブロック予選出場校総数一八八校、本大会(上井草球場)出場校三一校。

創設以来の先輩諸兄の功績は、本大会へ出場するためのブロック予選でしばしば優勝し、さらに本大会でもシード校になっていったなど、かなりよい成績をとげてこられたことでした。このようなよい先輩のあとを継いだ私たちが、本大会に臨んで優勝してみたいと思うのは当然なのです。しかし、過去の戦績またグラウンドの不足から、練習不十分な立場で出場しなければならなかったのもたしかです。そういった技術的なものにも増して、第一回戦に本校の一枚看板ともいべき福島君の欠場は、選手の気持ちを暗くしたらしい。でも、若さはこのような時に強いもので、いざ試合となるとなおさら頑張らなくてはならない、という意気込みもなつたのです。第一回戦(都立五商戦、前にも述べたように主戦投手欠場から他の試合に比べ打撃戦恰好で最初から手痛く攻められた。試合前にたしか主将が、五点以内に食い止めてくれたら自分たちはそれ以上の点を入れるから、と投手(江沢君)にいつていたのを私は耳にした。その作戦は本当に実現してしまつた)、第二回戦(相手は都立上野高校で、一昨年の全国大会優勝校だそうである。今年も本大会での優勝候補とさ

学校は育英校で、外国人のコーチを受け、さらに二回戦までは全生徒徒応援という賑やかなものだったが、今日はそれがなく静かだった。福島君は今日も好投してくれた。わが校は、これで準決勝に進むことになり、このころより選手達の秘められた胸の中では、ひよつとするとよいところまでいくのではないかと、という、予感さえしてきた)、第四回戦・準決勝戦(この日こそ全試合を通じ一番苦しいしあいであった。すなわち、対するのは都立武蔵丘高で、前年度優勝そして本年度も優勝候補なのである。でも延長一二回、遂に我が校の打棒の前に敗退した。もう、この時の喜びは語りようのない喜びである。「明日の優勝は何としても」と私達は思った)、決勝戦・ブロック大会から通算して第二回戦(いよいよ決戦の日がきたのである。相手として出てきたのは伝統ある早稲田実業高であった。早実は前日延長一五回の引き分けて、本日再試合をしたばかり、きつと私たちより苦しかったのではないかと想像されます。福島君も四試合連続でさすがに疲れているようでした。しかし、よく頑張り全選手張り切ったうちにサイレンが高らかに鳴りひびいた。二A対一、優勝!! 優勝!!、捨身で臨んだこの大会、見事ここまでやれたと、何ともいづくせなかつた。この最後の日まで、

暑さの中を一生懸命になって選手と共にされた先生、また諸先輩その他関係各位に、選手一同感謝の念でただ頭の下がる思いです。今後は第六回国民体育大会関東代表戦に、東京代表として出場するわけですが、その時にはこれまで以上に頑張り、港工高の榮譽を発揮したい。この新聞のほか、二十七年十月七日発行の第七号には先輩とともに練習している光景描写が、新聞部記者(五P小沢一明・八田羽健二の両君)によって書かれています。再録は省略するとして、それ以後の戦績を記します。一都二県大会(東京・神奈川・静岡)では準々決勝で早稲田高、準決勝で慶応高を破つて決勝に出ましたけれども、島田商高に惜敗しました。十月一日日桐生で開かれた関東大会、残念ながら前橋商高に敗れ、国体出場はなりませんでした。

以上のことがらに対する思い出を述べることにしましょう。苦労した点は、現在と同様、第一にグラウンド借用のことで、芝公園・日比谷公園・多摩川・天王洲など、いろいろ渡り歩きました。夜明けから並んで順番をとり、その足で学校へ出るのは大へんでした。それでも日比谷公園グラウンド(テニスコートのとなり)。その他に公会堂前の広場(現在きれいな噴水のある所)に四方を高いネットに囲まれ見事に整備された進駐

軍専用グラウンドが二面あった）は、八時前は無料で貸してもらえたので、早朝野球と洒落れこんだこともあり、予算が少ないので、装備・服装・交通費は全て自腹であったのは、やむをえないことでした。どうして優勝できたのかを考えてみると、野球が好きで好きで仕様がないう上に、全員がスポーツとしての野球に徹していたこと、男女共学の新制高校が発足して間もなくのため、私たちのような男子だけの学校の方がまとまりやすかったこと、野球・排球・籠球以外、テレビも誕生期でレジャーに乏しかったこと、などが理由になるのですが、要は生徒の質が違うこととは争えないようです。入学者の心構えが違うというか、戦後の経済的困難な時代に独立の精神で工高に学ぶものと、経済的繁栄の時代に仕様がないう学ぼうというのでは、すべての行動に機敏さの差異がでてくるのです。印象的なことをいえば、エースが緒戦に出られずやきもきしたこと、城南地区ブロック（港・品川・太田・目黒・世田谷）予選を、監督・コーチなしで消化し、後で主催者に叱られ、本大会にはベンチに坐っていたことなどです。

（全・第五回卒・自家営業）

50周年記念誌から

〔平成8年11月30日発行〕



東京タワー、もとは料亭!?

ビルに囲まれた東京タワーは、高層ビルに視界を遮られ、校舎からは見えなくなってしまうが、一歩桜田通りまで足を運べば、東京タワーが見える。よく晴れた冬の朝には、くつきりその姿を現してくる。特に夜間はライトアップが施され、美しい夜景は、東京の名所となっている。

東京タワーは、昭和33年に完成した総合電波塔で、自立鉄塔としてはパリのエッフェル塔よりも11メートル高い333メートルである。地上150メートルに大展望台、250メートルに特別展望台があり、展望台から見る眺めは文句なくすばらしい。晴天時には遠く富士山・三浦半島・房総半島まで一望でき、夜ともなれば東京の夜景を眼下に収めることができる。

実は芝公園の西にあるこの東京タワー、戦災で焼ける前には「紅葉館」

という料亭があった。芝公園西南に蓮池があり、その西側に紅葉山があった。この紅葉山にちなんで、明治14年に開業した紅葉館は、中の裝飾から、調度品・什器まですべて紅葉をあしらうという徹底ぶりだったという。『金色夜叉』の作者尾崎紅葉らを利用し、島崎藤村の『夜明け前』の出版記念パーティーや、島村抱月のヨーロッパ旅行送別会などもこの紅葉館で開かれたという。特に紅葉を中心とする硯友社の山田美妙・石橋思案・川上眉山・巖谷小波らがよく利用した。

紅葉館は戦災で焼けてしまい、その跡地に東京タワーが建てられた。東京タワー付近の今昔である。

♪愛宕のみどり さわやかに♪
輝く港 わが学び舎

校歌にも歌われている愛宕山。現在ではビルに囲まれているが、昔は雪月花の名所に数えられていた。今でも桜の咲くころになると桜の美しさにひかれて集う人々の目を楽しませてくれる。桜が散れば、柔らかな草色の葉が陽にキラキラと輝き、初夏の風が心地良い。梅雨が過ぎれば、木々の緑も濃くなり、真夏の照り返しに疲れた目を休めてくれるのである。都会の真中にありながら、足速に立ち去ろうとする我々に季節のう

つろいを言葉少なに語りかけてくれる。

愛宕山は標高26メートルの小高い丘で、山頂までの勾配は40度。一出世の石段一とも呼ばれる男坂を上がると慶長8（1603）年に創建された愛宕神社がある。江戸幕府が、城下の火防の神として勧請した神社だが、現社殿は昭和33年に再建された。江戸時代には信仰と見晴らしの場として親しまれていたがビルに囲まれた今も、その境内には森厳な気配が漂っている。

この港工業高校の50年を見守り続けた愛宕山。愛宕山界限の変遷は時代の流れを物語り、港工生の気質も変わってきた。50年という節目を迎え、我々は再び原点に戻る必要があるのではないだろうか。時代の中で、失ったものはないだろうか。愛宕の緑のように、時を越えても「変わらぬもの」、「変えてはならないもの」があるはずだ。

今も港工校舎の三階の一部からは愛宕山を望むことができる。港工高も、愛宕山の緑も、いつまでもさわやかにあり続けてほしいものである。



事務局からお知らせ

◎会則改定による賛助金のお願い
平成25年度の総会案内及び会報は、全員（住所判明者約4,600部）秋の臨時号は恩師及び賛助金納入者（1,600部）に送付しました。賛助金は574名の方に送金戴き、前年比約2%若干の増加でした。本年の会報発送は、春も恩師及び賛助金納入者等に絞り、財政の効率化を計ります。

同窓会の収入は会員の賛助金・寄付金のみです。会報継続のため皆様のご理解をお願いします。
消費税増により振込手数料(同窓会)で負担が高くなりました。

窓口振込 120円 ↓ 130円

ATM機 80円 ↓ 80円
※郵便局のATMを使えば、

①土曜・日曜も振込出来ます。

②同封の振込用紙をそのまま機械に挿入し、金額のみ押せばOKです。

③窓口より待ち時間が早いです。

☆銀行口座振込みを受け付けます
銀行 三菱東京UFJ銀行

支店 433 新橋支店 普通預金
口座番号 4753403

口座名義 港工同窓会会長前田武男
※必ず会員NOを記入して下さい。

出来れば振込連絡をお願いします。

◎卒業生への諸証明発行について

都立港工業高等学校の閉校に伴い卒業生への諸証明の発行事務は都立六郷工科高等学校において受け付けています。

〒144-8506

大田区東六郷2-18-2

京浜急行「雑色」下車

国道沿い徒歩3分

TEL 03-3737-6565

ご不明の点につきましては、

東京都教育庁高等学校課

TEL 03-5321-1111

へお問い合わせ下さい。

◎会員数の把握状況		H26年3月現在	
区分	在籍数	確認数(亡)	
正会員	高輪第一本科	771	63 (88)
	高輪第二本科	768	25 (92)
	麻布第一本科	485	105 (147)
	港・定時制	3,866	586 (99)
	港・全日制	9,773	3,452 (306)
計	15,663	4,231 (732)	
特別会員	旧校長	15	5 (10)
	旧職員	626	277 (136)
	計	641	282 (146)

>同窓会の連絡先変更について<

従来の(株)クリーンジャパンを退職し変更になり、住所変更の連絡、名簿内容の質問、同窓会ニュースへの寄稿、クラス会他近況等々は下記事務局へお願いします。

記

〒278-0051 千葉県野田市七光台 158-5

港工同窓会 松岡 信之(会計理事・港16期A)

TEL 080-1278-1584 FAX 04-7129-0916

E-mail: matsuoka@minatokou.net

☆平成25年度の収支状況

前期繰越額		2,484,205.-
収入の部		1,606,369.-
臨時会費	335,000.-	
賛助金 574名	1,148,000.-	
寄付その他	123,369.-	
支出の部		2,137,231.-
総会費 46名	857,648.-	
通信費	719,859.-	
広報費	437,345.-	
文化祭費	2,711.-	
事務その他	124,668.-	
次期繰越額		1,953,343.-

◇編集後記◇

冒頭の会長挨拶文にある「・・・命ある限り同窓会は存続したいと思っている」の力強いお言葉。たいへん重く受け止め、これで港工同窓会もとりあえず一安心。あとは我々理事諸氏の奮闘と同窓会会員皆様の「支え」(賛助金のお支払いのお願い)あるのみです。同窓会継続のために是非賛助金納入にご協力お願いします。

我が同窓会のシンボル、前田会長と加藤先生(会計理事)の近影をお載せしました(昨年11月の六郷祭展示室にて)。加藤先生はひところよりとても御元氣そうになりましたようにお見受けしました。これからも末永く御指導の程お願いします。

平成26年度・同窓会旅行

場所: 石和温泉(山梨・甲府の手前)

日時: 10月19日(日)~20日(月)

費用: ¥15,000.- (往復交通費込み)

詳細資料請求の方は下記へ。

(参加の有無に関係なくお送りします)

連絡先: 旅行幹事=中西悦夫 [12E2]

042-561-8242 (夕方以降不在多し)

又は、事務局・松岡まで